

旭興業株式会社 あさひリサイクルパーク

〒981-4103

電話 0229-65-2477

Fax 0229-65-2966

環境報告書

2024年度（5か月運用）

期間：2024年4月1日～2024年8月31日

発行：2024年9月30日

適用範囲

1. 組織概要

項 目 詳細

事業所名 旭興業株式会社 あさひりサイクルパーク

所在地 宮城県加美郡色麻町高根字新山前畑 19

事業の概要 産業廃棄物の収集運搬及び中間処分

沿革 平成 16 年 5 月 船形プラント跡地にて、産業廃棄物処理施設の設置許可取得
平成 16 年 9 月 あさひりサイクルパーク操業開始
平成 16 年 10 月 産業廃棄物収集運搬業の許可取得

資本金 5000 万

従業員数 17 名

売上高 令和 4 年度 1 億 2100 万円
令和 5 年度 1 億 3800 万円

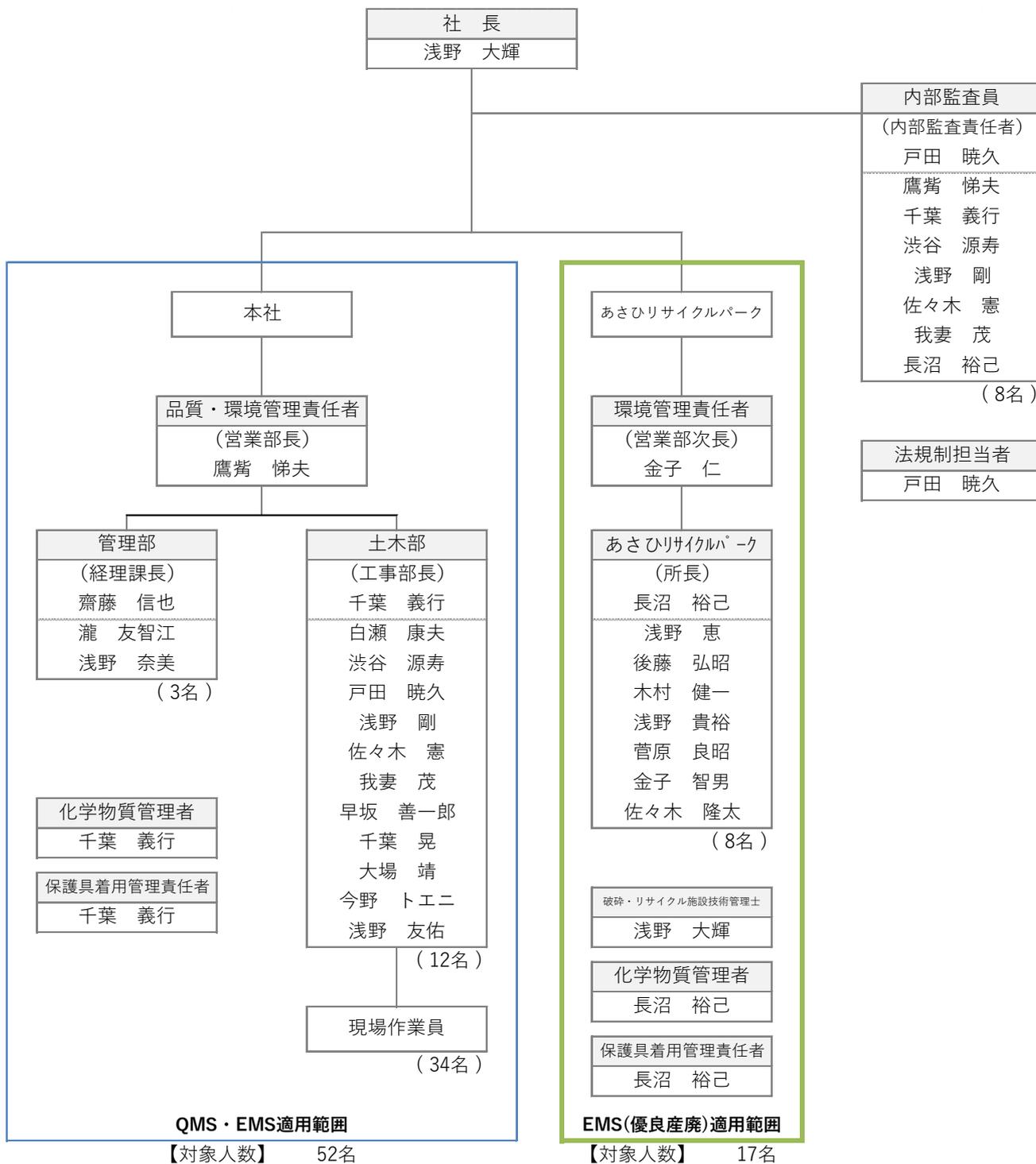
敷地面積：13,688 m²

敷地面積 事務所延床面積：91.09 m²

延床面積 処理工場延床面積：1,265.30 m²

積替保管施設面積：112.40 m²

組織図



※対象人数には、社長・内部監査員を含む。(兼務はカウントしない)

2. 産業廃棄物処理業に関する情報

処理業許認可

	処理業分類	中間処理	収集運搬
分類	行政	宮城県	宮城県
	許認可番号	00425113820	00415113820
	許可年月日	令和 6 年 9 月 8 日	令 6 年 10 月 14 日
	有効期限	令和 11 年 9 月 7 日	令和 11 年 10 月 13 日
	燃え殻		○
	汚泥		○
	廃油		
	廃酸		
	廃アルカリ		
	廃プラスチック類		◎
産業廃棄物	紙くず	○	◎
	木くず	○	○
	繊維くず		◎
	動植物性残さ		
	ゴムくず		
	金属くず（自動車等破砕物を除く）		◎
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	○	◎
	がれき類	○	○
	ばいじん		○
	石綿含有産業廃棄物		○
	水銀使用製品産業廃棄物		○

※ 収集運搬業 ○：取り扱うもの ◎：積替え又は保管行為を含むもの

収集運搬設備概要

#	車体の形状	最大積載量	低公害車、低燃費車対象車
1	ダンプ	8,500kg	
2	脱着装置付コンテナ専用車	4,000kg	
3	脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	
4	ダンプ	3,600kg	
5	ダンプ	10,700kg	
6	ダンプ	3,550kg	
7	ダンプ	3,500kg	
8	キューブオーバ	2,750kg	
9	ダンプ	9,600kg	
10	ダンプ	8,800kg	
11	ダンプ	9,100kg	
12	ダンプ	9,100kg	
13	ダンプ	9,100kg	
14	ダンプ	9,100kg	
15	キューブオーバ	7,600kg	
16	キューブオーバ	11,300kg	
17	ダンプ	9,300kg	
18	ダンプ	9,400kg	
19	脱着装置付コンテナ専用車	3,650kg	
20	ダンプ	9,200kg	

積替え保管施設

産業廃棄物の種類	保管上限 (立方メートル)	保管の高さ (メートル)
廃プラスチック類	4	1.4
紙くず	8	3.1
繊維くず	8	3.1
金属くず	8	3.1
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4	1.4
石綿含有産業廃棄物（廃プラ）	4	1.4
石綿含有産業廃棄物（ガラコン）	4	1.4

中間処理能力及び設備概要

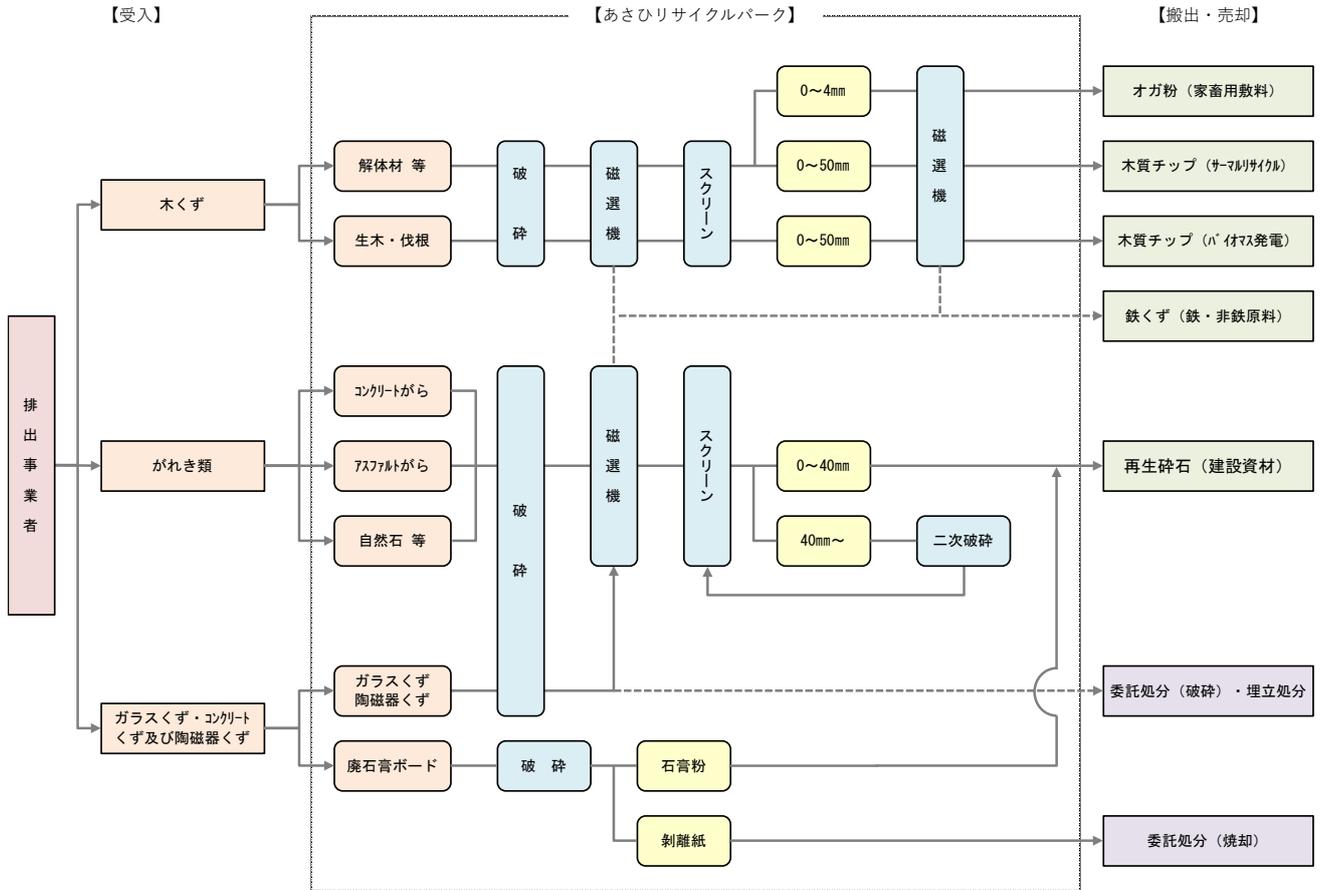
品目	処理能力		設備概要
	1次破碎	2次破碎	
がれき類	864t/日 (8時間) 108t/h	304t/日 (8時間) 38t/h	一次破碎 ジョークラッシャー FS-3624 二次破碎 インペラブレーカー KAP-35N 振動スクリーン 磁選機
木くず	386.4t/日 (8時間) 48.3t/h	24t/日 (8時間) 3t/h	一次破碎 木質破碎機 ROUND200 二次破碎 クリステイ 粉碎機 (30-30型) ロータリースクリーン 磁選機 排風機
ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	864t/日 (8時間) 108t/h	304t/日 (8時間) 38t/h	がれき類破碎施設と同じ
廃石膏ボード		16t/日 (8時間) 2t/h	石膏ボード紙分離システム KS-2000

その他の設備

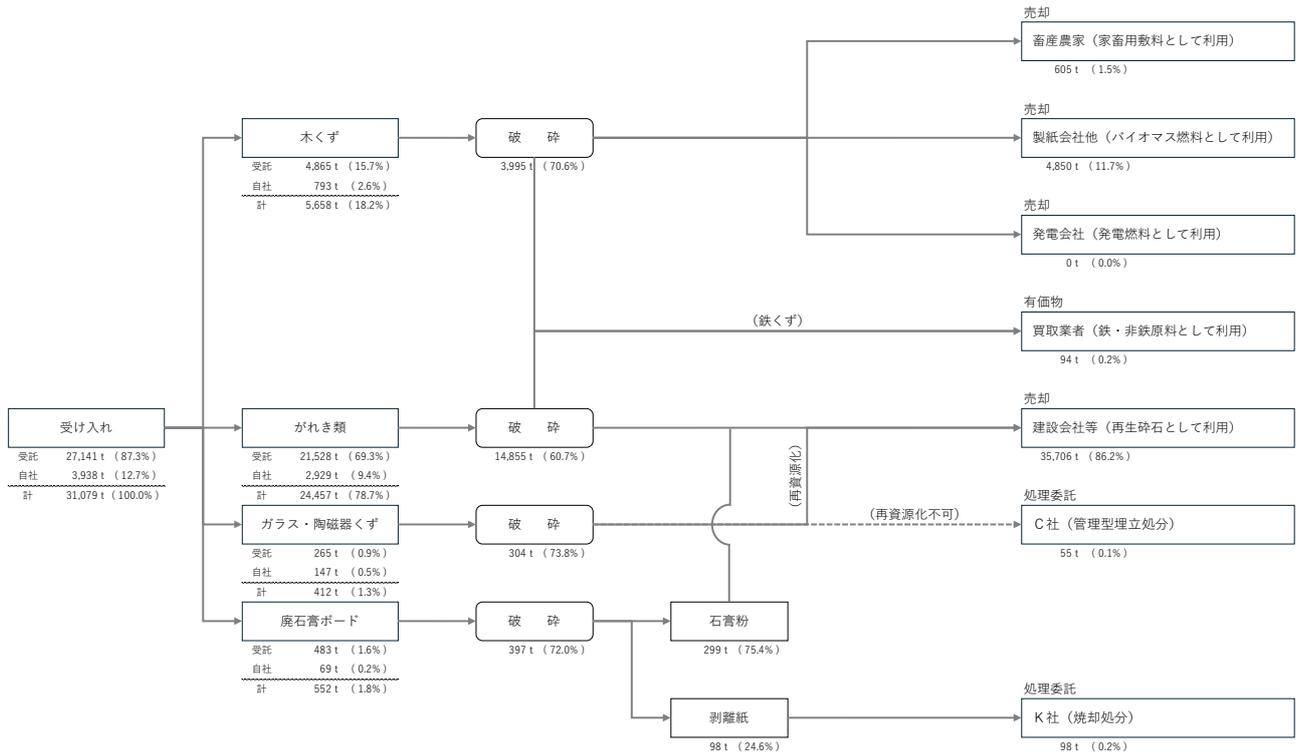
木質成形機、発電機、キュービクル、OK式油水分離槽、小型合併処理浄化槽

産業廃棄物処理フロー図

旭興業株式会社
2024年4月1日 現在



処理工程図



在庫量	10,328 t	41,406 t 100%
受入量	31,079 t	

持出量	41,406 t (100.0%)
-----	-------------------

処理（受託）実績（単位ト）

分類	2022年度 R4年度	2023年度（R5年度）	2024年度（R6年度）
	4月～3月	4月～3月	4月～8月
産業廃棄物収集運搬	287	367	328
積替え保管	0	0	0
産業廃棄物処理（受託）	18180	27,179	13,042
産業廃棄物処理（自社）	6816	3,938	7,104
産業廃棄物処理（合計）	24,996	31,116	20,146

小数点以下切り捨て

収集運搬の個別の実績

収集運搬車両 種類別運搬実績 (単位:t)

No.	産業廃棄物の種類	換算係数 (t/m3)	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	計
1	燃え殻	1.14													
2	汚泥	1.10													
3	廃油	0.90													
4	廃酸	1.25													
5	廃アルカリ	1.13													
6	廃プラスチック類	0.35	7.07	6.27	10.96	8.47	4.06								36.83
7	ゴムくず	0.52													
8	金属くず	1.13	3.28	2.15	4.29	2.49	3.84								16.05
9	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.00	5.50	6.09	7.68	0.40	40.50								60.17
10	鉱さい	1.93													
11	がれき類	1.48	0.74	92.83	0.44	1.58	28.12								123.71
12	ばいじん	1.26													
13	紙くず	0.30	3.21	8.69	3.00	10.65	17.79								43.34
14	木くず	0.55	3.11	32.16	1.63	3.90	5.50								46.30
15	繊維くず	0.12			1.07	0.80	0.16								2.03
16	動植物性残さ	1.00													
17	動物系固形不要物	1.00													
18	動物のふん尿	1.00													
19	動物の死体	1.00													
20	13号廃棄物	1.00													
	合計		22.91	148.19	29.07	28.29	99.97								328.43

※収集運搬車両

- 4tダンプ 宮城100そ3820
- 10tダンプ 宮城100は6048 (※2024/4減車)
- 4tユニック 宮城100た1694
- 10tダンプ 宮城100ひ3917 (※2024/4増車)

廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積もりをおこなう。

3. みちのく EMS に関連した情報

みちのく EMS 登録情報

項目	詳細
認証年月日	新規認証
認証登録番号	新規認証
有効期間	新規認証
登録範囲（サイト）	旭興業株式会社 あさひりサイクル
適用業務	産業廃棄物の収集運搬及び中間処分
環境報告書の対象期間	2024年4月1日～2024年8月31日
環境報告書発行日	2024年9月30日
運用管理体制	最高責任者：代表取締役社長 浅野 大輝 管理責任者：営業次長 金子 仁



環境方針

【基本理念】

旭興業株式会社は、環境問題に対する自主的な取り組みと、その継続的改善を経営の重要課題の一つとして位置づけ、全ての事業活動を通じて、環境への影響に配慮し、その保護に努めることにより、持続的な発展が可能な社会づくりに貢献する。

【基本方針】

1. 順守義務を満した活動を徹底する。
2. 環境負荷の低減に継続的に取り組み、環境汚染の予防に努める。
3. 環境目標を設定し、これらを定期的に見直すこととEMSの継続的な改善にて、環境パフォーマンスの向上に努める。
4. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に貢献する。
5. 環境教育・啓発を推進し、従業員に環境方針を周知徹底し、環境保護の意識の向上を図る。
6. 環境方針は、従業員及び協力会社に周知するとともに、一般に公開する。

2024年 4月 1日

ASAHI-KOGYO
旭興業株式会社

代表取締役 浅野大輝



環境目標

目標	基準年	2024	項目	基準年	2024	2025	2026	実施事項(日程含む)	必要な資源	部門 責任者	達成 期限	達成確認 評価方法
	2023年度 4月～8月 5か月間	4月～8月 5か月間		2023年度	2024年4月～2025年3月	2025年4月～2026年4月	2026年4月～2026年5月					
収集運搬 専属3台 二酸化炭素排出量 の削減 kg-CO2/年 2024 5か月 基準から 0.1%削減 以降 毎年前年度から0.0%削減	8,489	8,481	目標	21,931	21,909	21,887	21,865	①エコドライブの実施 ②車両整備	・設備のメンテナ ンス予 ・人件費 ・排出事業者の協力	【部門】 あさひリサイクル 【統括責任者】 代表取締役 【実施責任者】 所長	年度中	パフォーマンス 評価表で評 価
		10,242	実績									
処理場 二酸化炭素排出量 の削減 kg-CO2/年 2024 5か月 基準から 0.1%削減 以降 毎年前年度から0.1%削減	136,991	136,854	目標	344,207	343,863	343,519	343,175	①処理設備の保守点検 ②分 別強化 ③分別排出の指導 ④LED照明	・設備のメンテナ ンス予 ・人件費 ・排出事業者の協力	【部門】 あさひリサイクル 【統括責任者】 代表取締役 【実施責任者】 所長	年度中	パフォーマンス 評価表で評 価
		129,316	実績									
再資源化率 % 2024 5か月 基準から 0.025%プラス 以降 毎年0.1%プラス	60.30	60.303	目標	61% ※	61.1%	61.2%	61.3%	①排出事業者に分別廃棄のお 願 ②選別の強化 (2024年2月導 入済み) ③手選別と機械選別	・設備のメンテナ ンス予 ・人件費 ・排出事業者の協力	【部門】 あさひリサイクル 【統括責任者】 代表取締役 【実施責任者】 所長	年度中	パフォーマンス 評価表で評 価
		83.49	実績									
水の使用量削減 m ³ /年 2024 5か月 基準から 0.025m ³ 以降 毎年0.1m ³ 削減	30	29,975	目標	72	71	70	69	①雨水の利用 ②手洗い時の節水	・社員の意識	【部門】 あさひリサイクル 【統括責任者】 代表取締役 【実施責任者】 所長	年度中	パフォーマンス 評価表で評 価
		30	実績									
事業系一般廃棄物 の排出量の削減 枚/年 2024 5か月 基準から オーバーしないこと 以降 毎年1枚削減	数量 把握 していない	数量 把握	目標	数量 把握 していない	数量 把握			①満杯になるまで捨てない ②私物は持ち帰りを原則化	・社員の意識	【部門】 あさひリサイクル 【統括責任者】 代表取締役 【実施責任者】 所長	年度中	パフォーマンス 評価表で評 価
		28	実績									

※再資源化率2023年度は在庫分の出荷があり128%が実績となったがこの結果は特異なものであり通常年度では達成できない結果である。2022年度は58%であった、また、2023年度4月～8月(5か月間)の実績60.3%であったため毎年60%前後が通常の再資源化率と分析できる。このことを考慮して目標値は上記の通り設定した。

CO₂ 排出係数

軽油	2.62	※算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧※令和5年12月12日更新(令和6年1月16日一部修正) (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)
ガソリン	2.32	※算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧※令和5年12月12日更新(令和6年1月16日一部修正) (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)
灯油	2.50	※算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧※令和5年12月12日更新(令和6年1月16日一部修正) (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)
電気	0.585	※電気事業者別排出係数一覧 (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/r06_denki_coefficient_rev9.pdf) (電気:オリックス(株)メニューH(残差))
重油	2.75	※算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧※令和5年12月12日更新(令和6年1月16日一部修正) (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2023_rev4.pdf)
ガス	6	※プロパン、ブタン、LPガスのCO ₂ 排出原単位に係るガイドライン (https://www.j-lpgas.gr.jp/news/files/CO2_guidline.pdf)

2024 年度 4 月～8 月の活動実績

目標	目標値	実施事項(日程含む)	実績	評価
収集運搬 専属 3 台 二酸化炭素排出量の削減 kg-CO ₂ /年 2024 5 か月 基準から 0.1%削減 以降 毎年前年度から 0.0%削減	8,481	①エコドライブの実施 ②車両整備	10,242	未達成
処理場 二酸化炭素排出量の削減 kg-CO ₂ /年 2024 5 か月 基準から 0.1%削減 以降 毎年前年度から 0.1%削減	136,854	①処理設備の保守点検 ②分別強化 ③分別排出の指導 ④LED 照明	129,316	達成
再資源化率 % 2024 5 か月 基準から 0.025%プラス 以降 毎年 0.1%プラス	60.303	①排出事業者に分別廃棄 のお願い ②選別の強化 (2024 年 2 月導入済み) ③手選別と機械選別	83.49	達成
水の使用量削減 m ³ /年 2024 5 か月 基準から 0.025 m ³ 以降 毎年 0.1 m ³ 削減	29.975	①雨水の利用 ②手洗い時の節水	30	未達成
事業系一般廃棄物の排出量の削減 枚/年 2024 5 か月 基準からオーバーしないこと 以降 毎年 1 枚削減	数量 把握	①満杯になるまで捨てな い ②私物は持ち帰りを原則 化	28	達成

活動の評価

再資源化について

再資源化について、在庫分の出荷が加算されたため2か月で100%を超える実績となった。全体では75%を超える結果となった。在庫分の出荷があったため再資源化率を引き上げた。

二酸化炭素排出量の削減について

大型解体物件を本社で受注しており、そのコンクリート殻の処理負荷分が処理場でのCO₂排出の増加につながったと分析できる。収集運搬も3月の完成後の現場の後片づけの依頼などの増加もあり全体的な稼働が増加した結果であった。

水の使用量削減

水の使用量は安定して毎月6 m³であった。6 m³は事務所での使用であった。場内に散水は井戸水を使用しているため資源の節約に貢献できた。

事業系一般廃棄物の排出量の削減

事業系一般廃棄物の排出量は今期からの監視であるが、おおよそ6枚程度が毎月の排出枚数となる。

産業廃棄物の排出について※（目標には展開していない）

事業所からの産業廃棄物の排出（1次マニフェストの発行）はなかった。

次年度の課題及び活動

目標	基準年 2023年度 4月～8月 5か月間	2024 4月～8月 5か月間	項目	基準年 2023年度	2024 2024年4月～2025年 3月	2025 2025年4月～2026年 4月	2026 2026年4月～2026年 5月
収集運搬 専属3台 二酸化炭素排出 量の削減 kg-CO2/年 20245か月 基準か ら0.1%削減 以降 毎年前年度から0.0% 削減	8,489	8,489	目標	21,931	21,909	21,887	21,865
		10,242	実績				
処理場 二酸化炭素排出 量の削減 kg-CO2/年 20245か月 基準か ら0.1%削減 以降 毎年前年度から0.1% 削減	136,991	136,854	目標	344,207	343,863	343,519	343,175
		129,316	実績				
再資源化率 % 20245か月 基準か ら0.025%プラス 以降 毎年0.1%プラス	60.30	60.303	目標	61% ※	61.1%	61.2%	61.3%
		83.49	実績				
水の使用量削減 m ³ /年 20245か月 基準か ら0.025 m ³ 以降 毎年0.1 m ³ 削減	30	29.975	目標	72	71	70	69
		30	実績				
事業系一般廃棄 物の排出量の削 減 枚/年 20245か月 基準か らオーバーしないこと 以降 毎年1枚削減	数量 把握 してい ない	数量 把握	目標	数量 把握 してい ない	数量 把握		
		28	実績				

再資源化について

引き続き目標達成に向けて分別廃棄の依頼、前処理の徹底にて再資源化率を維持していく。

二酸化炭素排出量の削減について

収集運搬ではエコドライブを徹底し、CO₂ 排出削減の意識をもって業務を遂行する。処理場では空運転を極力減らし、効率的な処理を実践していく。

水の使用量削減

引き続き井戸水の活用と事務所での節水にて現状を維持していく。

事業系一般廃棄物の排出量の削減

引き続き排出量（枚数）の削減に取組み、数量を確実に把握する。

産業廃棄物の排出について※（目標には展開していない）

基本的にあさひりサイクルパークからの産業廃棄物（1次マニフェスト）の排出はないが、あった場合はマニフェスト交付状況実績報告で実績を把握していく。

順守義務への取組み状況

当社に事業活動に適用される順守義務については、定期的に調査日という形で確認した。順守状況の評価を時下記の通り行った結果、違反及び不順守はなかった。また、運用期間中及び創業以来、関係機関からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

法律その他の規制一覧表

承認	評価者
2024/6/1	2024/6/1
	

調査日：2024年4月1日

対象：本社、産業廃棄物の中間処理

順守義務	適用条件	実施事項	適用	評価	備考
廃棄物 処理法	中間処理許可品目（ガラスくず、陶磁器くず、コンクリートくず、がれき類、木くず）の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者との処理委託契約の締結 ・許認可物のみの受入れ ・マニフェストの管理 	○	✓	
	処理	<ul style="list-style-type: none"> ・処理施設の設置許可（看板設置） ・処理施設の維持管理の点検・検査及び記録の3年保存（トラックスケール、処理施設の定期点検、機能検査等） ・技術管理者の設置（破碎・リサイクル技術管理者） ・産業廃棄物処理責任者の設置 ・帳簿の備え付け ・事故発生時の都道府県知事などへの届け出 ・処分基準の厳守（飛散や流出防止、騒音振動粉塵対策、中間処理に伴う保管の基準（囲い）、掲示板（60 cm以上×60 cm以上）、最大保管高さの表示、保管上限の表等 ・実績報告（マニフェスト交付状況、処理実績） 	○	✓	
	収集運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・飛散防止 ・収集運搬車両であることの表示（氏名称、許可番号） ・書面の備え付け ・過積載防止 ・許可品目のみの運搬 ・積込場所と荷卸場所の許可 ・マニフェストの管理 	○	✓	
	積み替え保管	<ul style="list-style-type: none"> ・積み替え保管場所であることの表示（60 cm以上×60 cm以上） ・飛散、流出、地下浸透並びに悪臭防止 ・防虫防鼠 ・積み替え後の運搬先の明確化 ・保管量厳守 ・周囲に囲いを設置 ・保管品目の厳守（許可品目） 	○	✓	
	2次委託	<ul style="list-style-type: none"> ・2次委託先との処理委託契約の締結 ・2次委託先の許認可の確認 ・2次委託先の受入基準準拠 ・マニフェストの発行と管理 	○	✓	
	2次委託に伴う収集運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬業者との契約の締結 ・収集運搬業者の許認可の確認 	○	✓	
	事業系一般廃棄物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・営業ごみとして廃棄 	○	✓	

順守義務	適用条件	実施事項	適用	評価	備考
貨物自動車 運送事業法	再生資源の出荷	・営業許可	○	✓	
容器包装リサイクル法	一般廃棄物である容器包装廃棄物を対象とする	・現場事務所の自動販売機等の缶・ペットボトル等の分類 ・市町村が定めた分別の基準に従い容器包装廃棄物も適正に分別排出する	○	✓	
家電リサイクル法	特定家庭用機器 テレビ（液晶・プラズマ含）、エアコン、電気冷蔵庫及び冷凍庫、電気洗濯機、衣類乾燥機	・小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する ・指定業者による廃棄	○	✓	廃棄なし
プラスチック資源循環促進法	廃プラスチックの廃棄	・分別廃棄	○	✓	
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器 パソコン、携帯電話、デジタルカメラ、CDプレーヤー等々	・具体的な回収品目や回収方法は市町村により異なり、品目によっては手数料あり ・指定業者による廃棄	○	✓	廃棄なし
騒音規制法	処理からの騒音	・第2種区 8：00～19：00 55db	○	✓	
宮城県公害防止条例	低騒音型の重機の使用	・低騒音型のバックホウの使用	○	✓	
振動規制法	処理からの騒音	・第2種区 8：00～19：00 55db	○	✓	
宮城県公害防止条例	低騒音型の重機の使用	・低騒音型のバックホウの使用	○	✓	
浄化槽法	浄化槽の使用	・浄化槽法定検査	○	✓	
オフロード法	バックホウの使用	・適合証明	○	✓	
フロン排出抑制法	エアコンの使用	・簡易点検 ・整備点検記録	○	✓	
労働安全衛生法	危険を伴う作業 化学物質（灯油、グリース、潤滑油等）の使用 粉じん作業	・特別教育、技能講習、有資格者による作業	○	✓	
		・特定自主検査、月例点検、始業前点検	○	✓	
		・SDSの取寄せ、化学物質リスクアセスメント	○	✓	
		・化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任	○	✓	
		・化学物質RA対象物へのばく露状況のヒヤリング	○	✓	
		・健康診断の受診	○	✓	
		・作業環境測定	○	✓	
・保護具の着用	○	✓			
消防法	第2石油類 灯油、軽油等：1000L	・指定数量以下の保管	○	✓	
	指定可燃物（チップ）	・保管上限	○	✓	
	発電機（発電所）	・点検	○	✓	
	防火設備	・消火器の設置（期限）	○	✓	
液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律	給湯器のプロパンガスの使用	・設置基準準拠（業者依頼）（転倒防止）	○	✓	
電波法	トランシーバーの使用	・技適マーク	○	✓	基地局設置不要
計量法	トラックスケールの使用	・検定	○	✓	

自動車リサイクル法	非該当	・当社所有の車両はないため	○	✓	
出荷先 受入基準	再生資源の販売	・販売先の受入基準	○	✓	

内部監査・外部監査の報告

内部監査 : 2024年7月1日
監査場所 : あさひリサイクルパーク
適用規格 : みちのくEMS (第3版) 2016年10月7日
みちのくEMS (第3版) エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書
2020年6月30日
対象業務 : 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理 (がれき類、木くず、ガラス陶磁器くず)
監査チーム : 内部監査員2名 (みちのくEMS 内部監査員養成講座修了)

外部審査

名称 : 優良産廃登録審査
監査日 : 2024年11月18日予定
監査結果 : -

マネジメントレビュー

全体評価

2024年4月～8月の5か月間の運用に対して2024年9月2日にマネジメントレビューを実施した。環境マネジメントシステムは、全般的にスムーズに運用が開始され、現時点でマネジメントシステムを見直す点はない。

見直し評価

環境方針の変更の必要性は継続する

2024年9月以降も現状の環境マネジメントシステムをもとに運用を継続し、環境負荷低減に向けて活動する見直し評価

コミュニケーション

2024年6月10日 全産連北海道・東北ブロック 講演会

以上